

# 問題

問題 1. 次の問いに答えよ。

(1) 3点  $A(1, 4, 5), B(1, 0, 3), C(2, 1, 0)$  の定める平面  $ABC$  上に点  $P(3, 6, z)$  があるとき、 $z$  の値を求めよ。

(2) 3点  $A(2, -1, 3), B(-1, 3, 0), C(3, 0, -1)$  の定める平面  $ABC$  上に点  $P(0, y, -4)$  があるとき、 $y$  の値を求めよ。

問題 2. 次の問いに答えよ。

(1) 直方体  $OADB-CEGF$  において、辺  $FG$  の中点を  $M$  とし、直線  $OM$  と平面  $ABC$  の交点を  $P$  とする。 $\vec{OA} = \vec{a}, \vec{OB} = \vec{b}, \vec{OC} = \vec{c}$  とするとき、 $\vec{OP}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  を用いて表せ。

(2) 直方体  $OADB-CEGF$  において、辺  $DG$  の  $G$  を越える延長線上に  $2DG=GH$  となるように点  $H$  をとり、直線  $OH$  と平面  $ABC$  の交点を  $P$  とする。 $\vec{OA} = \vec{a}, \vec{OB} = \vec{b}, \vec{OC} = \vec{c}$  とするとき、 $\vec{OP}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  を用いて表せ。

(3) 四面体  $OABC$  において、辺  $OA$  の中点を  $M$ 、辺  $BC$  を  $2:1$  に内分する点を  $N$  とし、線分  $MN$  を  $1:3$  に内分する点を  $R$  とし、直線  $OR$  と平面  $ABC$  の交点を  $P$  とする。 $\vec{OA} = \vec{a}, \vec{OB} = \vec{b}, \vec{OC} = \vec{c}$  とするとき、 $\vec{OP}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  を用いて表せ。

(4) 四面体  $OABC$  において、辺  $OA$  を  $3:1$  に内分する点を  $M$ 、辺  $BC$  を  $1:2$  に内分する点を  $N$  とし、線分  $MN$  の中点を  $R$  とし、直線  $OR$  と平面  $ABC$  の交点を  $P$  とする。 $\vec{OA} = \vec{a}, \vec{OB} = \vec{b}, \vec{OC} = \vec{c}$  とするとき、 $\vec{OP}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  を用いて表せ。

## 練習

練習 1. 次の問いに答えよ。

(1) 3点  $A(-1, 3, 0), B(2, 2, 1), C(0, 1, 6)$  の定める平面 ABC 上に点  $P(x, 3, 4)$  があるとき、 $x$  の値を求めよ。

(2) 3点  $A(4, 2, 1), B(3, 0, -1), C(2, -1, 0)$  の定める平面 ABC 上に点  $P(7, 5, z)$  があるとき、 $z$  の値を求めよ。

練習 2. 次の問いに答えよ。

(1) 直方体 OADB-CEGF において、辺 GD を 1:2 に内分する点を H とし、直線 OH と平面 ABC の交点を P とする。 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}, \overrightarrow{OB} = \vec{b}, \overrightarrow{OC} = \vec{c}$  とするとき、 $\overrightarrow{OP}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  を用いて表せ。

(2) 直方体 OADB-CEGF において、辺 FG の G を越える延長線上に  $FG=GH$  となるように点 H をとり、直線 OH と平面 ABC の交点を P とする。 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}, \overrightarrow{OB} = \vec{b}, \overrightarrow{OC} = \vec{c}$  とするとき、 $\overrightarrow{OP}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  を用いて表せ。

(3) 四面体 OABC において、辺 OA を 1:2 に内分する点を M, 辺 BC の中点を N とし、線分 MN を 2:1 に内分する点を R とし、直線 OR と平面 ABC の交点を P とする。 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}, \overrightarrow{OB} = \vec{b}, \overrightarrow{OC} = \vec{c}$  とするとき、 $\overrightarrow{OP}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  を用いて表せ。

(4) 四面体 OABC において、辺 OA を 1:3 に内分する点を M, 辺 BC を 2:1 に内分する点を N とし、線分 MN の中点を R とし、直線 OR と平面 ABC の交点を P とする。 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}, \overrightarrow{OB} = \vec{b}, \overrightarrow{OC} = \vec{c}$  とするとき、 $\overrightarrow{OP}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  を用いて表せ。

# 解答

問題 1.

$$(1) z = -1 \quad (2) y = 4$$

問題 2.

$$(1) \overrightarrow{OP} = \frac{1}{5}\vec{a} + \frac{2}{5}\vec{b} + \frac{2}{5}\vec{c} \quad (2) \overrightarrow{OP} = \frac{1}{5}\vec{a} + \frac{1}{5}\vec{b} + \frac{3}{5}\vec{c}$$

$$(3) \overrightarrow{OP} = \frac{3}{5}\vec{a} + \frac{2}{15}\vec{b} + \frac{4}{15}\vec{c} \quad (4) \overrightarrow{OP} = \frac{3}{7}\vec{a} + \frac{8}{21}\vec{b} + \frac{4}{21}\vec{c}$$

練習 1.

$$(1) x = -6 \quad (2) z = -2$$

練習 2.

$$(1) \overrightarrow{OP} = \frac{3}{8}\vec{a} + \frac{3}{8}\vec{b} + \frac{1}{4}\vec{c} \quad (2) \overrightarrow{OP} = \frac{1}{2}\vec{a} + \frac{1}{4}\vec{b} + \frac{1}{4}\vec{c}$$

$$(3) \overrightarrow{OP} = \frac{1}{7}\vec{a} + \frac{3}{7}\vec{b} + \frac{3}{7}\vec{c} \quad (4) \overrightarrow{OP} = \frac{1}{5}\vec{a} + \frac{4}{15}\vec{b} + \frac{8}{15}\vec{c}$$